



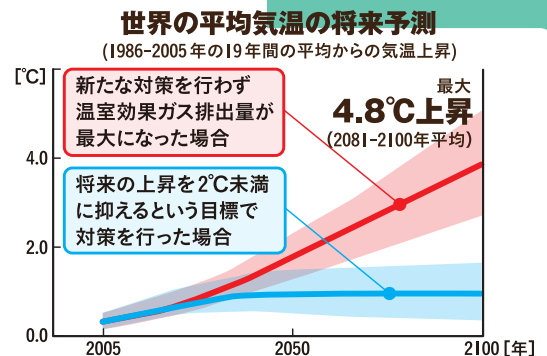
この度は、ご参加いただき誠にありがとうございます。

子どもたちが生きる将来の地球環境保全に向けて、この「夏休み省エネチャレンジ」をご活用ください。

地球温暖化により、 2100年の気温は最大4.8度上昇！

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、最新の第5次評価報告書において、20世紀半ば以降に観測された温暖化の要因は人間活動である可能性が「極めて高い」（95%）としています。また、化石燃料を大量に消費し続ければ、2100年ごろまでに最大4.8℃上昇すると予測しています。

図 IPCC 第5次評価報告書を基に作図



2050年までに80%削減 その時、お子さまは何歳？

温暖化防止のためには、温室効果ガス排出を止めなければなりません。2015年末、フランスのパリで国際会議が開催され、2100年より早い時期に温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることなどを盛り込んだ「パリ協定」が採択されました。

日本や京都府は2050年までに80%削減する（5分の1以下にする）ことを目標としています。

2050年、今から34年後お子さまは何歳になっているでしょう。私たちは、それまでに、自信を持って引き継げる社会を作ることができるでしょうか。

2050年
僕たち、私たち
〇〇歳！



暮らしを豊かに 地域を豊かに 「選ぶ対策」始めませんか？

温室効果ガス排出を80%削減する社会は、生活の質を80%落とす社会ではありません。機会に応じてうまく選択することで生活の質を落とすことなく実施できる対策は、小さなものから大きなものまでたくさんあります。金銭面でお得になることも多くあります。エコチェック表にあるような「今すぐできる身近な対策」に加え、温暖化防止に繋がる「選ぶ対策」を実践してみてください。それは、石油や石炭を買うために海外に支払っていたお金を京都に留めることになり、地域を元気にする力にもなります。

このページのCO₂削減量の計算根拠はQRコードか下記URLよりご覧いただけます。

<http://kcfca.or.jp/oyako/>



日々できる選択

近場・旬の食材を選ぶ

例 舞鶴産の魚はカナダ産の魚に比べ輸送中に出るCO₂を90%削減

使う機器を選ぶ

例 灯油暖房ではなくエアコン暖房を選ぶとCO₂を35%削減

時々できる選択

身近な省エネ製品を選ぶ

例 白熱灯からLED電球に切り替えると電力消費量80%削減

例 節水シャワーヘッドに切り替えるとシャワーのお湯を30%削減

買い替えの時にできる選択

車、エアコン、冷蔵庫などの買い替えの時には省エネ型のものを選ぶ

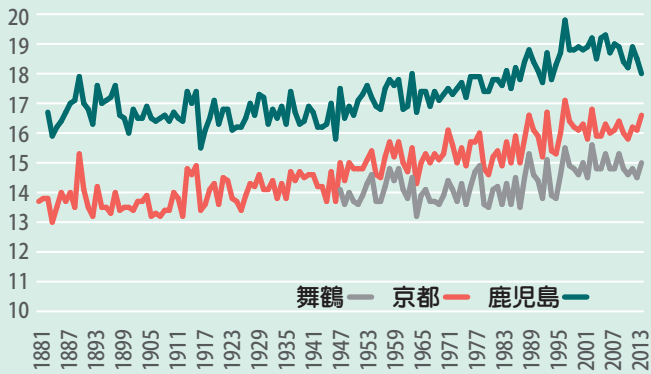
例 10年前の標準的な冷蔵庫が壊れた時に省エネ型に買い換えると電力3/1に削減

住宅の新築・大規模改修のタイミングでできる選択

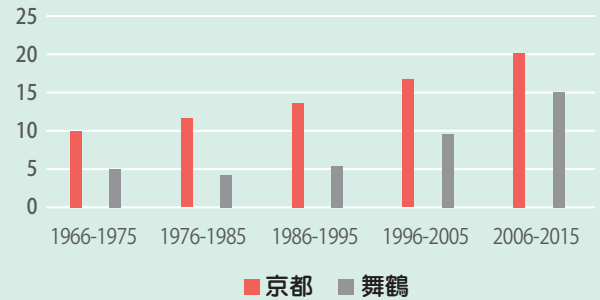
熱が無駄に逃げない家を選ぶ。
再生可能エネルギーを使える家を選ぶ。

暑〜い夏! 熱中症にご注意を! 無理なガマンは禁物です!

年平均気温の推移 (°C)



猛暑日 (最高気温が 35°C以上) の日数の変化 (10 年毎の年平均値)



※グラフは気象庁データより作成：舞鶴市気温データは観測が開始された 1948 年以降のデータを掲載

京都市の平均気温は、しばらく前の鹿児島の気温に追いついてしまいました。舞鶴市でも上昇傾向にあることがわかります (グラフ左)。地球温暖化だけではなく、都市の温暖化 (ヒートアイランド現象) も影響しています。

最高気温が 35°C を超える「猛暑日」の数も増えています。10 年毎の平均値を見ると、京都で 2 倍、舞鶴で 3 倍になっています (グラフ右)。

昔とは状況が変わってきています。熱中症に注意し、無理にガマンしないで、適切にエアコンを使ってください。

エアコンは、賢くお得に使おう!

1 室外機を涼しく!

エアコンは、熱交換によって室内の熱を室外に捨てる機械です。室外機付近が暑いと、これがうまく機能せず、多くの電力が必要になります。周りに物を置かないで室外機付近の風通しを良くしましょう。上にひさしをかけて直射日光が当たらないようにするのも◎。

2 日光は、室外で遮ろう!

直射日光は、とても大きなエネルギーを持っています。これが室内に入らないよう、すだれやよしず、オーニング、植物などを活用して、窓の外で日差しを遮るのが効果的です。



日本で昔から使われている「よしず」

3 エアコンの風量は「自動」に!

エアコンの風量を「弱」にすると、部屋の熱を外に運びにくくなり、かえって多くの電力を使います。風量は「自動」に設定したほうが省エネになります。

4 扇風機を併用しよう!

風がある方が体感温度は下がります。エアコンを使うときにも扇風機は止めないで。その分、設定温度を高めましょう。



5 「除湿」にご注意!

除湿は、通常の冷房よりも方式によっては多くの電力を消費する場合があります (「室温を下げずにしっかり除湿」をうたう「再熱除湿方式」の場合はこの傾向に)。メーカーホームページなどで確認しましょう。

6 家族みんなで涼しくお出かけ。「クールスポット」を活用しよう!

もちろん、エアコンを使わないのがいちばん省エネ。家族みんなでプールや図書館、美術館に出かけるなどして、涼しさも多くの人とシェアしましょう。



インターネット環境家計簿のご案内

京都府では、エネルギー消費量を入力するだけで手軽に平均世帯との比較ができる「インターネット環境家計簿」をご用意しています。

URL はコチラ www.kyoto216.com/kakeibo/

